

入野小学校 校長室だより

2015. 5. 29(金) No. 8 文責：芝

一度は更に高い場所へ！

先週の木曜日の午後に、高知のテレビ局から電話が入りました。

「明日の保小中高合同避難訓練を撮影させてほしい。」

とのこと。お話を伺っていると、テレビ局が撮りたいのは、高校生が保育園児や小学生を助けて避難する様子ようです。「合同避難」と銘打っていますから、そういう姿が浮かぶのですね。ですが、

「小学生は6年生が1年生の手を引いて…のように、自分たちで避難しますので…」

と、お伝えし、ぜひ高校生が保育園児とかかわる姿を紹介してくださいとお願いしたことでした。

その翌日(22日)、「10時に大きな地震が発生し、津波警報が発令された」という想定で合同避難訓練を行いました。入野小学校の子どもたちも整然と集合・避難し、地震発生から錦野公園での「全員の避難確認」まで22分間(避難開始から18分間)、ほぼ想定の通りに行うことが出来ました。

錦野公園から帰校直後のことです。避難訓練取材する立場の男性(最初のテレビ局の方ではない)が校長室を訪ねて来られました。

「入野小学校は、他の学校と違う避難方法のように見えたのだが…」



と、疑問を持たれたようです。昨年度の入野小学校の避難の様子をご存じの方が見ても「子どもたちが、それぞれに一気に避難場所まで駆け上がる」という様子から「列になって全員で避難場所へ移動する」という変化に驚くことでしょう。「なぜ、そうしたのか」、昨年度の2月に出した『校長室だより』でも書きましたが、新たに本校に入られた保護者もいらっしゃると思いますので、再度『その部分』を抜粋でご紹介します。

私は町外から招いた防災関係の講師の方から、「入野小は最悪想定でも津波は来ないのだから、避難する必要はないのでは？」と投げかけられて大いに迷った時期があります。

大きな地震が起きたとしたら、家屋や塀が壊れて道路を塞いでいるかもしれません。電柱が倒れて電線が道路まで垂れ下がっているかもしれませんし、津波を避けようと車がたくさん走って来るかもしれません。そんなリスクを考えると、避難するより『最悪想定でも津波は来ない入野小学校・避難場所にもなっている入野小学校』から動かない方がいいのではないか、と…。今でも迷いは消えていません。そんな中で、色々考えた結果、

「一度は更に高い場所に避難する」

という原則に戻りました。最悪想定でも津波は来ませんが、“想定外だった”は許されません。『津波は来ない』を前提に、『想定外』に備えて「普通に歩く速さ・安全に気をつけながら」更に高い場所に避難し、情報を確認してから学校に戻るようにする、それを基本に考えているところです。ご意見下さい。

避難訓練後に来られた男の方にも、上のような内容をお伝えしたことでした。

どんな方法が「百点満点」なのかは分かりませんので、これからも防災関係の方からアドバイスをいただきながら何度も考えていくこととなります。保護者の皆さんからも、情報をいただけたらありがたいです。

訓練は何度でもいいですが、本番だけは…。